

リクルート進学総研

女子高生の60%が結婚出産後も「働きたい」 専業主婦志向の27%の2倍以上

～結婚相手に働き続けてほしい男子高生は29%、女子を下回る～
－高校生のライフデザイン「高校生価値意識調査2014」－

参考資料

【調査概要】

■調査名

高校生価値意識調査

■調査目的

高校生の将来イメージおよび進路選択に対する価値意識を把握する。

■調査期間

2014年4月4日（金）～4月8日（火）

■調査方法

インターネット調査

■調査対象

2014年3月時点の高校1～3年生のうち、進学希望者

株式会社マクロミルのモニター会員のうち、2014年3月時点の高校生を対象にスクリーニング調査を実施し、下記の①もしくは②に該当した者、を調査対象とした。

①2014年4月現在、高校2年生、3年生で大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討している男女。

②2014年4月現在、高校既卒者で、高校時代に大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討したことがある男女。

・対象数は条件に該当した者から、平成25年度学校基本調査（確定版）の「全日制・本科生徒数（県別）」を基に、関東/東海/関西/その他エリアの4つのブロック別に、回収数が実際の生徒数の比となるように設定した。

関東エリア：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

東海エリア：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

関西エリア：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

その他エリア：上記以外の都道府県

■集計対象数

1,438人

・関東エリア、東海エリア、関西エリア、その他エリアそれぞれにおいて、平成25年度学校基本調査（確定版）から、当該年度の学生数の男女構成比を算出し、エリア毎の男女構成比を補正している。

	【回収実数】 ウェイトバック前			ウェイト値		【補正調査数】 ウェイトバック後		
	全体	男子	女子	男子	女子	全体	男子	女子
全体	1,438	444	994			1,438	722	716
関東	448	131	317	1.702	0.700	445	223	222
4エリア 別 東海	175	49	126	1.776	0.690	174	87	87
関西	242	85	157	1.412	0.758	239	120	119
その他エリア	573	179	394	1.631	0.731	580	292	288

【集計対象者プロフィール】

■ 高校所在エリア（全体／単一回答）

(%)		関東	東海	関西	その他 エリア	北海道	東北	甲信越	北陸	中国・ 四国	九州・ 沖縄
全体	(n=1438)	30.9	12.1	16.6	40.3	6.0	6.9	5.3	3.1	8.6	10.5

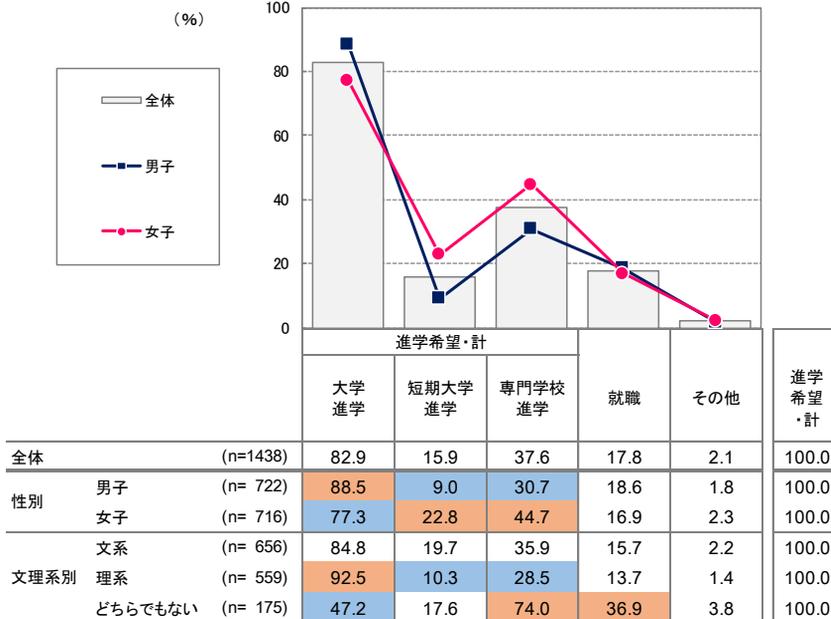
■ 現在(2014年4月)の学年（全体／単一回答）

(%)		高校 2年生	高校 3年生	3月卒業生					3月 卒業生			
●凡例				大学 1年	短期大学 1年	専門学校 1年	浪人生	就職 (社会人)				
全体	(n=1438)	32.7		34.7					19.5	1.8	3.0	32.6
								6.8	1.5			

■ 性別（全体／単一回答）

(%)		男性	女性
●凡例			
全体	(n=1438)	50.2	49.8
文系	(n= 656)	34.6	65.4
文理系別 理系	(n= 559)	70.6	29.4
どちらでもない	(n= 175)	37.5	62.5

■ 高校卒業後の希望進路（全体／複数回答）



100.0 「全体」より5ポイント以上高い
100.0 「全体」より5ポイント以上低い

※高校2年生・高校3年生に関しては回答時点での希望進路、卒業生に関しては高校在学時の希望進路

【高校生のライフデザイン：女子】

■ 将来、結婚・出産しても働きたいと考える女子高生は60%。 専業主婦志向の27%の2倍以上となった。

- ・ 将来結婚・出産しても働きたい:59.9% > 将来専業主婦になりたい:27.3%
- ・ 高校所在エリア別にみると、
専業主婦志向は大都市圏の方が高く（大都市圏29.9% > 大都市圏以外25.0%）
働きたい意向は大都市圏以外の方が高い。
（大都市圏55.7% < 大都市圏以外63.9%）
- ・ 結婚相手に、家事や育児ができることを求める女子高生も59.6%。

女子

■ 将来、結婚・出産しても働きたい（女子／単一回答）

凡例	あてはまる□計		どちらとも いえない	あてはまらない□計		あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
	あてはまる	まああてはまる		あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
2014年 全体 (n= 716)	29.7	30.3		27.3	7.0	59.9	12.8
高校所在 エリア別							
大都市圏 (n= 347)	28.5	27.2		30.4	6.9	55.7	13.9
大都市圏以外 (n= 369)	30.7	33.2		24.4	7.0	63.9	11.7

■ 将来、専業主婦になりたい（女子／単一回答）

凡例	あてはまる□計		どちらとも いえない	あてはまらない□計		あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
	あてはまる	まああてはまる		あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
2014年 全体 (n= 716)	12.4	15.0	29.1	25.1	18.5	27.3	43.6
高校所在 エリア別							
大都市圏 (n= 347)	14.7	15.2	29.9	22.9	17.3	29.9	40.2
大都市圏以外 (n= 369)	10.2	14.8	28.3	27.1	19.6	25.0	46.8

■ 結婚を考える時は、相手が家事・育児ができる(手伝ってくれる)ことを重視する（女子／単一回答）

凡例	あてはまる□計		どちらとも いえない	あてはまらない□計		あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
	あてはまる	まああてはまる		あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
2014年 全体 (n= 716)	22.4	37.2		33.5	5.4	59.6	7.0
高校所在 エリア別							
大都市圏 (n= 347)	25.1	34.9		34.4	4.6	60.0	5.6
大都市圏以外 (n= 369)	19.8	39.3		32.6	6.3	59.2	8.2

【結婚・出産しても働きたい理由：女子】

- 働きたい理由1位は「仕事にやりがいを感じられそうだから」（54%）。2位「経済的に自立しておきたいから」（51%）。

・結婚・出産しても働きたい理由

- 1位「仕事にやりがいを感じられそうだから」（54.3%）
- 2位「経済的に自立しておきたいから」（50.6%）
- 3位「夫婦どちらかの収入だけでは生活することが難しそうだから」（44.8%）
- 4位「家庭だけでなく、社会とのつながりを持ち続けたいから」（40.3%）
- 5位「自分で自由に使えるお小遣いが欲しいから」（40.0%）

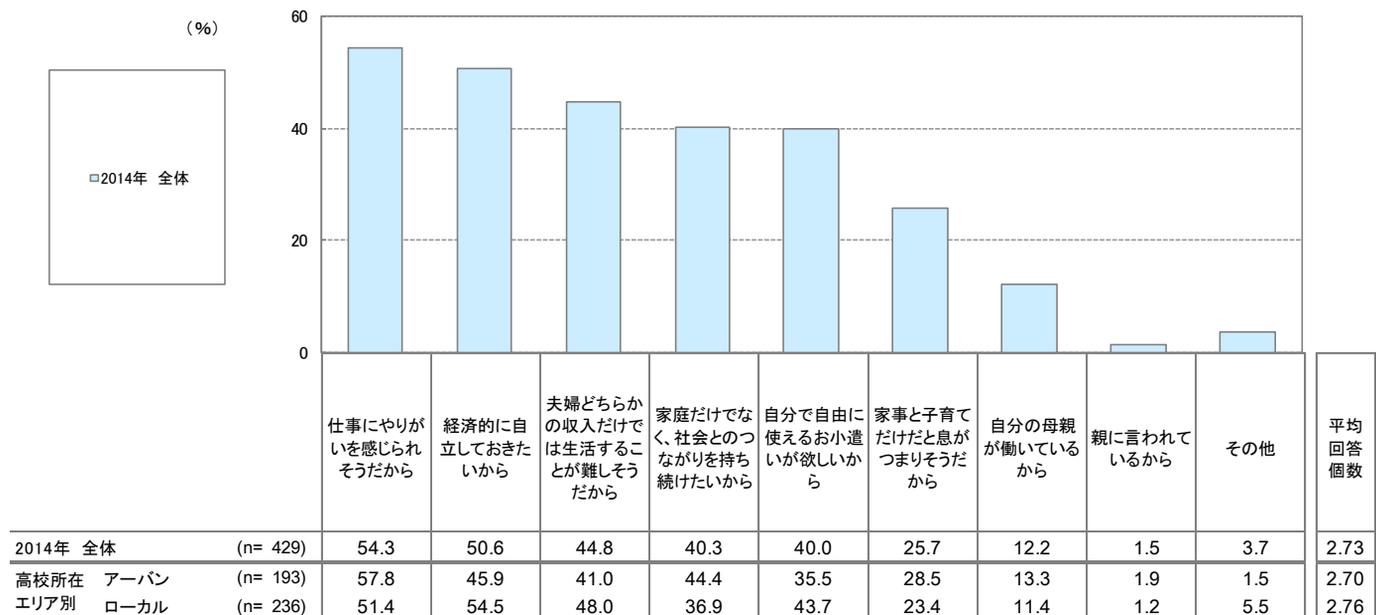
・高校所在エリア別に見ると、「やりがい」や「社会とのつながり」に関しては大都市圏が高く、経済的な理由に関しては大都市圏以外が高い。

「仕事にやりがいを感じられそうだから」（大都市圏57.8%>大都市圏以外51.4%）
 「家庭だけでなく、社会とのつながりを持ち続けたいから」（大都市圏44.4%>大都市圏以外36.9%）

「経済的に自立しておきたいから」（大都市圏45.9%<大都市圏以外54.5%）
 「夫婦どちらかの収入だけでは生活することが難しそうだから」（大都市圏41.0%<大都市圏以外48.0%）
 「自分で自由に使えるお小遣いが欲しいから」（大都市圏35.5%<大都市圏以外43.7%）

女子

■結婚・出産しても働きたい理由（女子・「結婚・出産しても働きたい」該当／複数回答）



※「全体」の降順 100.0 「全体」より5ポイント以上高い 100.0 「全体」より5ポイント以上低い

【高校生のライフデザイン：男子】

■結婚相手に働き続けてほしい男子高生は29%と、女子の60%を下回った。

- ・将来、結婚相手には結婚・出産しても働き続けてほしい 29.1%
- ・高校所在エリア別にみると、働き続けてほしい意向は大都市圏以外の方が高い。(大都市圏26.7% < 大都市圏以外31.5%)
- ・結婚相手に、家事や育児ができることを求める男子高生は60.8%。女子の59.6%とほぼ同数となった。

男子

■将来、結婚・出産しても働き続けてほしい（男子／単一回答）

	(%)	あてはまる口計			どちらとも いえない	あてはまらない口計		あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
		あてはまる	まああてはまる			あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
凡例									
2014年 全体	(n= 722)	11.3	17.9	47.0	13.3	10.6	29.1	23.8	
高校所在 エリア別									
大都市圏	(n= 350)	10.0	16.7	50.8	13.7	8.9	26.7	22.5	
大都市圏以外	(n= 372)	12.5	19.0	43.5	12.9	12.2	31.5	25.1	

■結婚を考える時は、相手が家事・育児ができる(手伝ってくれる)ことを重視する（男子／単一回答）

	(%)	あてはまる口計			どちらとも いえない	あてはまらない口計		あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
		あてはまる	まああてはまる			あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
凡例									
2014年 全体	(n= 722)	22.8	38.0	34.9	2.3	2.0	60.8	4.3	
高校所在 エリア別									
大都市圏	(n= 350)	22.6	37.2	35.5	3.4	1.4	59.8	4.7	
大都市圏以外	(n= 372)	23.1	38.7	34.3	1.3	2.6	61.8	3.9	

【結婚しても働き続けてほしい理由：男子】

■働き続けてほしい理由1位は

「夫婦どちらかの収入だけでは生活することが難しそうだから」(57%)。
男子は経済的な不安が高い。

・結婚・出産しても働き続けてほしい理由

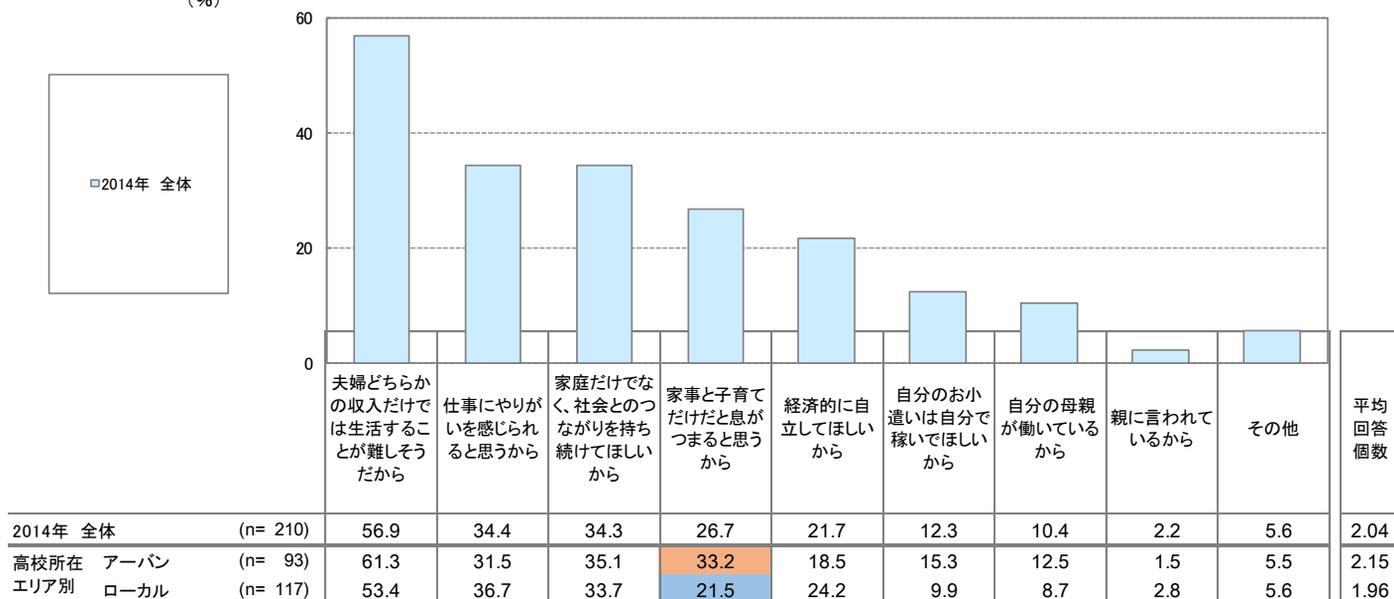
- 1位「夫婦どちらかの収入だけでは生活することが難しそうだから」(56.9%)
- 2位「仕事にやりがいを感じられると思うから」(34.4%)
- 3位「家庭だけでなく、社会とのつながりを持ち続けてほしいから」(34.3%)
- 4位「家事と子育てだと息がつまると思うから」(26.7%)
- 5位「経済的に自立してほしいから」(21.7%)

→男子は経済的な不安が高いことが明らかとなった。

男子

■結婚・出産しても働き続けてほしい理由（男子・「結婚・出産しても働き続けてほしい」該当／複数回答）

(%)



※「全体」の降順 100.0 「全体」より5ポイント以上高い 100.0 「全体」より5ポイント以上低い

【高校生の結婚観】

■ 高校生の75%が「結婚したい」と思っているが、実際に「結婚できる」と考えている高校生は33%。

- ・ 将来、結婚したいと思う 75.3%
- ・ 将来、結婚できると思う 33.2%
- ・ 将来、子どもをもちたい 64.8%

■ 将来、結婚したいと思う（全体／単一回答）

凡例	（%）	あてはまる□計		どちらとも いえない	あてはまらない□計			あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
		あてはまる	まああてはまる		あまり あてはまらない	全く あてはまらない			
2014年 全体	(n=1438)	53.0		22.3	10.7	6.5	7.4	75.3	13.9
性別	男子	50.3		25.6	11.0	5.9	7.2	75.8	13.1
	女子	55.8		19.0	10.4	7.1	7.6	74.8	14.8
高校所在 エリア別	大都市圏	53.2		22.2	12.4	6.0	6.3	75.4	12.3
	大都市圏以外	52.8		22.4	9.2	7.0	8.5	75.3	15.5

■ 将来、結婚できると思う（全体／単一回答）

凡例	（%）	あてはまる□計		どちらとも いえない	あてはまらない□計		あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
		あてはまる	まああてはまる		あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
2014年 全体	(n=1438)	13.9	19.3	34.7	19.8	12.2	33.2	32.0
性別	男子	13.7	19.7	36.6	18.4	11.6	33.4	30.0
	女子	14.2	18.9	32.8	21.3	12.8	33.1	34.1
高校所在 エリア別	大都市圏	14.5	18.9	36.7	19.9	9.9	33.4	29.9
	大都市圏以外	13.4	19.7	32.9	19.7	14.3	33.0	34.1

■ 将来、子どもをもちたい（全体／単一回答）

凡例	（%）	あてはまる□計		どちらとも いえない	あてはまらない□計			あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
		あてはまる	まああてはまる		あまり あてはまらない	全く あてはまらない			
2014年 全体	(n=1438)	40.8		24.0	17.5	8.0	9.7	64.8	17.7
性別	男子	36.7		28.4	19.1	7.1	8.7	65.0	15.9
	女子	45.0		19.5	15.9	8.9	10.6	64.6	19.5
高校所在 エリア別	大都市圏	40.8		24.1	17.8	8.9	8.4	64.9	17.3
	大都市圏以外	40.9		23.8	17.2	7.2	10.8	64.7	18.1

「高校生価値意識調査2014」 の調査結果に対するリクルート進学総研所長 小林浩の見解

リクルートでは2007年から、高校生の価値観、将来観、ライフデザインの考え方などを聞く、高校生価値意識調査を実施しています。今年の調査結果から見えるポイントの一つ、結婚後の仕事観、男女の違いについてまとめました。

<POINT>

- 1) 女子高校生の専業主婦希望は3割以下（27%）に留まる一方、結婚・出産後も働きたいとの回答は6割（60%）に達し、女子高生の「働きたい」志向が高いことが分かった。
- 2) 働きたい理由のトップは「仕事にやりがいを感じられそうだから」（54.3%）が「経済的な自立」（50.8%）を上回る。
- 3) 一方、男子高校生で「（結婚相手に）結婚・出産後も働いてほしい」と回答したのは約3割（29.3%）、その理由は「夫婦どちらかの収入だけでは厳しそう」が6割弱（56.9%）と男女の結婚後の働き方に関するギャップが大きいことが分かった。

<解説>

●今回の調査で、初めて高校生のライフデザインということで、結婚後の働き方について聞いてみました。なかでも、特に最近記者の方によく聞かれる「今どきの女子高生の専業主婦志向」について、抜粋しました。なんと、結婚・出産後も働きたいと考える女子高生は6割と、専業主婦志向を持つ女子高生の2倍に達しました。その理由も、仕事のやりがいが経済的事情を上回る結果となりました。

●これは、小さいころからキャリア教育を受けている世代と関係があるように思います。日本では、2004年に文部科学省が「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」でキャリア教育の推進を提言され、小中高等学校においてキャリア教育が広まっています。つまり、小学校時代からキャリア教育を受け、将来の生き方・働き方を考えてきた世代でもあります。

●また、参考データを見ると、高校生が生まれた時期（1997年）に、共働き世帯が専業主婦世帯を上回っています。“働く母親”を身近に見てきたことも、将来観に影響を与えていると考えられます。

●一方、男子では、結婚相手に結婚・出産後も働いてほしいと考えている高校生は約3割と、女子に比べ少なくなっています。もっとも、どちらともいえないが約半数となっており、よくわからない、あまり考えていないのが実情だと思います。ただ、働いてほしい理由を見ると、経済的事情が、仕事のやりがいを上回っており、男女間でギャップがあることがわかります。

●やりがいのために働きたい女子と、あまりよく考えていないけど、家計のために働いてほしい男子。いざ婚活となって初めて考えるのではなく、高校や大学の段階で、将来のライフデザインについて、もっと男女一緒に考える機会が必要なのではないでしょうか。

リクルート進学総研 所長 小林 浩（こばやし ひろし） リクルート進学総研

PRODUCED BY RECRUIT

<プロフィール>

1988年（株）リクルート入社。早稲田大学法学部卒。グループ統括担当や、『ケイコとマナブ』商品企画マネージャー、大学ソリューション営業、社団法人経済同友会出向（教育問題担当）、会長秘書、大学ソリューション推進室長などを経て、2007年4月より現職。文部科学省中央教育審議会 高大接続特別部会臨時委員。現、リクルート進学総研所長 兼、『リクルートカレッジマネジメント』編集長

<リクルート進学総研とは> URL : <http://souken.shingakunet.com/>

高校生、進路選択に関する調査研究機関として、以下の活動を行っています。

- ・全国の大学、短期大学、専修学校など、高等教育機関の経営層向けの専門誌『カレッジマネジメント』の発行
- ・高校の先生を読者対象とする進路指導、キャリア教育の専門誌『キャリアガイダンス』シリーズの発行
- ・高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査の実施や社外に向けての情報発信

<取材にお答えできます>

- ・大学をめぐる政策動向全般について
- ・高校生の進路や将来についての価値観・大学のブランド力
- ・高校生、保護者、高等教育機関についての各種データ・マーケット動向や事例など、高校生～大学経営まで教育に関わる内容について幅広くお答えします。



【本件に関するお問合せ・取材のご依頼】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【本調査リリースの全文】 <http://souken.shingakunet.com/research/>

女子

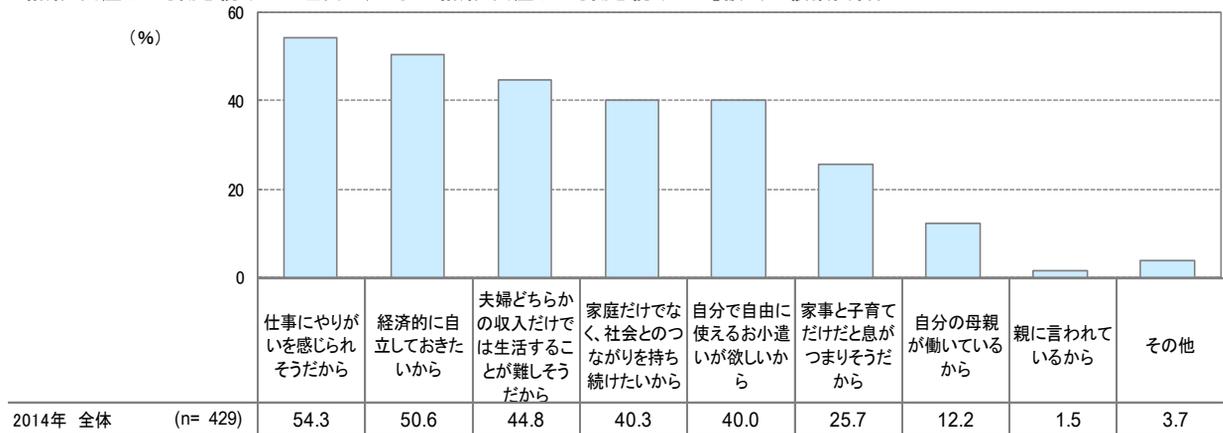
図1 ■将来、専業主婦になりたい（女子／単一回答）

凡例	2014年 全体 (n= 716)	あてはまる□計		どちらとも いえない	あてはまらない□計		あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
		あてはまる	まああてはまる		あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
		(%)	(%)		(%)	(%)		
		12.4	15.0	29.1	25.1	18.5	27.3	43.6

■将来、結婚・出産しても働きたい（女子／単一回答）

凡例	2014年 全体 (n= 716)	あてはまる□計		どちらとも いえない	あてはまらない□計		あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
		あてはまる	まああてはまる		あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
		(%)	(%)		(%)	(%)		
		29.7	30.3	27.3	7.0	5.8	59.9	12.8

図2 ■結婚・出産しても働きたい理由（女子・「結婚・出産しても働きたい」該当／複数回答）

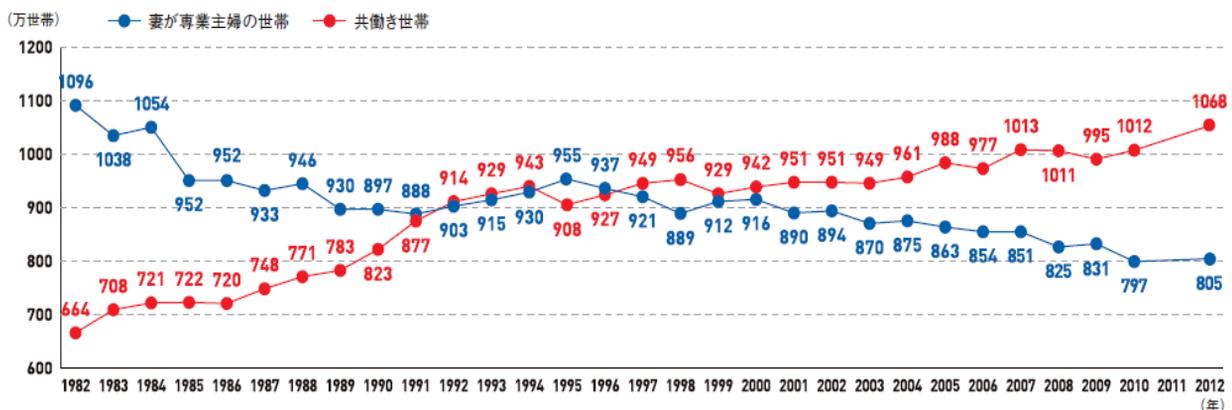


男子

図3 ■(結婚相手に対して) 将来、結婚・出産しても働きたい（男子／単一回答）

凡例	2014年 全体 (n= 722)	あてはまる□計		どちらとも いえない	あてはまらない□計		あて はまる ・計	あて はまら ない ・計
		あてはまる	まああてはまる		あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
		(%)	(%)		(%)	(%)		
		11.3	17.9	47.0	13.3	10.6	29.1	23.8

参考：共働き世帯数と、夫が働いていて妻が専業主婦の世帯の推移(総務省統計局調べ)



※2011年は岩手県、宮城県、福島県で調査が行われていないため割愛